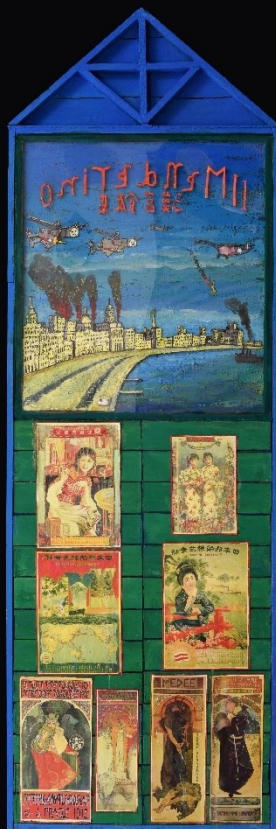


ボーダレス・アートミュージアムNO-MA企画展

林田嶺一のポップ・ワールド

THE POP WORLD OF HAYASHIDA REIICHI



① 《第2次上海事変の現場「戦争」被害者の映像
(上空を飛ぶ「少女」の身体を「導入」した戦闘機)》2015

1933年に中国満州で生まれた林田嶺一は、幼少期を大連、ハルビン、上海、青島などを転々としながら過ごし、その35年後、人生をかけた絵画制作に取り組み始めました。

満州から日本へと引き揚げる12歳までの体験や場面を描いた、「満州ポップシリーズ」です。

上空を飛ぶ少女、足がはえた飛行機……、林田の作品は幼少期の「記憶」とその時のリアルな「感情」がシンクロすることによって生まれます。

また、いくつも要素を複合させる作品構造からは、大連やハルビンなどで林田が経験した大陸的な社会環境と、記憶の断片をつなぎ合わせようとする意識が感じられます。

本展では、未公開作品を含む約60点の作品をもって、深刻なテーマを持ち前のポップな感覚で表現し続けた林田ワールドを体感いただきます。

展覧会概要

会場 ボーダレス・アートミュージアムNO-MA (滋賀県近江八幡市永原町上16)

会期 2023年2月11日(土・祝)～5月14日(日)

開催時間 11:00～17:00

休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

観覧料 一般300円(250円) 高大生250円(200円)

※中学生以下無料、障害のある方と付添者1名無料 ()内は20名以上の団体料金

主催 ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

社会福祉法人グロー(GLOW)～生きることが光になる～

後援 滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会

協力 近江八幡観光物産協会、しみんふくし滋賀、マエダクリーニング仲屋店

【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人事務局芸術文化部 (ボーダレス・アートミュージアムNO-MA)

担当: 赤澤 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837-2

TEL: 0748-46-8100 FAX: 0748-46-8228 MAIL: akazawa-yoshiro@glow.or.jp

■展覧会の見どころ

◆林田の「記憶」と「感情」が紡ぎだす「歴史」の一場面を、窓をのぞき込むように体感する。

林田の記憶に残る戦争の様子が、レストランや船窓の向こう側で起きている出来事として描かれています。窓というフィルターを通すことで、その場にいるような臨場感があり、歴史の一場面を、様々な思いで見つめていた林田の感情がよみがえります。

◆戦争とポップ・アート。「林田ワールド」の表現の多彩さを楽しむ。

林田は多くのテロを目撃しましたが、幼かったからか恐怖心はほとんどなかったようです。そこに「戦争」と「ポップ・アート」が結びついたヒントがあるのかもしれませんが。様々な素材をコラージュした半立体作品には、人形やおもちゃが作品の中に組み込まれていたり、カラフルな木枠の中にロシアや中国の言葉が描かれ、異彩を放っています。

◆「アール・ブリュット」の文脈で語られる林田作品。昨年まで続いた「北海道」での制作とは。

専門的なアートの教育を受けることなく、思いのまま制作をつづけた林田の作品は、いつからか「アール・ブリュット」(生の芸術)の展覧会で取り上げられるようになりました。「アール・ブリュット」と言われることを、林田本人はどう感じていたのか。昨年亡くなるまで続いた北海道での制作はどのようなものだったのか。関連イベントにて、制作をサポートしていた原田ミドーさん(彫刻家)が語ります。

◆見えない、見えにくい人のための鑑賞方法を用意しています。

2022年4月から、NO-MAでは誰もが作品を楽しめるように、様々な鑑賞方法を用意しています。本展では、作品の原寸サイズのレプリカを作成して、触れて楽しめる鑑賞を提供します。



展覧会チラシ中面

■ 出展作品



② 《八幡港》 2014



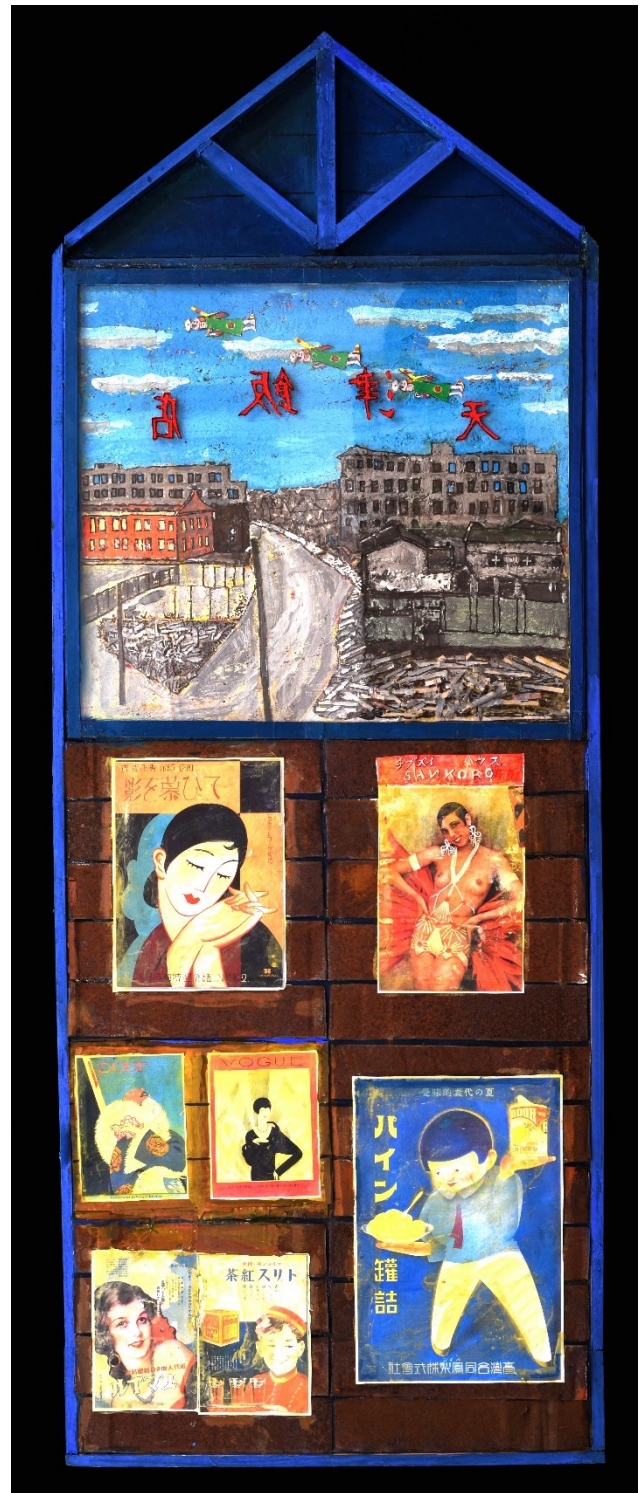
③ 《満州事変の「テロの現場」》 2014-15



④ 《「大人文化」の映像を「シミュレーション」化した「子供文化」の「オリジナルイメージ」化》 2014-15

林田 嶺一 Hayashida Reiichi プロフィール

1933年、中国満州の懐徳公主嶺泉町(現:中国吉林省公主嶺市)に生まれた林田は、大連、ハルビン、上海、青島などさまざまな土地を転々としながら過ごし、終戦に伴い日本に帰国した。1979年から、道立三岸好太郎美術館の学芸員のひと言を受け、引き揚げ体験をもとにした作品制作を開始。2022年に逝去するまで北海道江別市を拠点として活動した。主な展覧会に、「林田嶺一ポップアート展」(江別市セラミックアートセンター、2005)、「ART BRUT JAPONAIS II」(HALLE SAINT PIERRE、2018)、「窓展」(東京国立近代美術館、2019-20)など。



⑤ 《上海郊外の第2次上海事変》 2015

関連イベント情報

■ “林田ワールド” ギャラリー・ツアー [オンライン]

林田嶺一さんと親交が深かった彫刻家・原田ミドーさんと一緒に、林田さんの作品の奇想天外な世界観や制作の裏側について語ります。

出演：原田ミドー（彫刻家）、横井悠（NO-MA学芸員）

配信日：3月11日（土）

※開催期間中（5月14日まで）公開します。詳細はHPをご覧ください。



NO-MA YouTube チャンネル

■ 障害などを理由に、NO-MAに行くか迷っている方へ

「さわって楽しめるものはある?」「これが苦手なんだけど大丈夫?」「静かにしなくてもいい?」など、あなたやあなたの周りの方が気になっていることや、必要なサポートを教えてください。合理的配慮の観点から、できる限りの情報提供やスタッフによる対応を行います。なお、本展では、見えにくい方や聞こえにくい方、字を読むのが苦手な方に向けての「情報保障」や、さわって楽しむ展示物を準備しています。



詳しくはQRコードからご確認ください

同時開催

盲ろう者との美術鑑賞成果展示

「静かな夜に言葉を浮かべる」

観覧無料

しが盲ろう者友の会とNO-MAの共働による美術鑑賞プロジェクトの成果展示。盲ろうの人と一緒に作品をさわって、対話しながら鑑賞した記録を基に、「盲ろう」という知覚のあり方に触れていただけます。



会場：NO-MA1階

主催：ケアしあうミュージアム事業実行委員会

協力：NPO法人しが盲ろう者友の会

助成：令和4年度 文化庁 博物館機能強化推進事業（Innovate MUSEUM 事業）

広報用画像申込書

社会福祉法人グロー 法人事務局芸術文化部
(ボーダレス・アートミュージアムNO-MA) 広報宛
FAX : 0748-46-8228

本展覧会広報用素材として、作品画像を用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください。

なお、写真の使用に際し、以下の点をご確認ください。

- (1) キャプションは、作家名、作品名、制作年を必ず表記ください。
- (2) 作品のトリミング、文字載せはお控えください。
- (3) 本展記事をご紹介いただく場合には、恐れ入りますが情報確認のための校正、掲載誌（紙）、DVD、CD等をお送りください。

媒体名：『

』

種別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー
ネット媒体 携帯媒体 その他

発売・放送予定日：

御社名：

ご担当者名：

Eメールアドレス：

@

(〒 -)

ご住所：

お電話番号：

FAX：

<input type="checkbox"/>	①林田嶺一 《第2次上海事変の現場「戦争」被害者の映像 (上空を飛ぶ「少女」の身体を「導入」した戦闘機)》 2015年
<input type="checkbox"/>	②林田嶺一 八幡港 2014年
<input type="checkbox"/>	③林田嶺一 《満州事変の「テロの現場」》 2014-15年
<input type="checkbox"/>	④林田嶺一 《「大人文化」の映像を「シミュレーション」化した「子供文化」の 「オリジナルイメージ」化》 2014-15年
<input type="checkbox"/>	⑤林田嶺一 《上海郊外の第2次上海事変》 2015年

【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人事務局芸術文化部 (ボーダレス・アートミュージアムNO-MA)

担当：赤澤 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837-2

TEL : 0748-46-8100 FAX : 0748-46-8228 MAIL : akazawa-yoshiro@glow.or.jp